なじょな願いも聞きなさる山の神様を訪ねて

大山まつりが開催

今年も６月１日から30日の１カ月間、大山祇神社春の例大祭「大山まつり」が開催され、町内外から多くの参拝客が訪れました。また、期間中は規模縮小などの新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、各種イベントが開催され、まつりを盛り上げました。

同月１日のオープニングセレモニーでは、テープカットや大山さゆり太鼓の演奏が行われたり、大山まんじゅうが振る舞われたりなど、参拝客の皆さんを歓迎しました。他にも、ガイドとともに御本社へ参拝する「大山トレッキング」や、出ヶ原和紙の紙漉き体験ができる「なじょな願いもかみ頼み」など、大山祇神社や町の魅力を味わえるさまざまなイベントが開催されました。

西高生が西会津の歴史・文化を学ぶ

「歩く・学ぶ・西会津」

５月21日、西会津高校の恒例行事「歩く・学ぶ・西会津」が行われました。これは、西高の地域連携活動の一つで、町内の史跡を巡ることで町の歴史や文化について理解を深めることを狙いに実施しています。当日は、町の歴史を研究している田崎敬修さんを講師に招き、町の江戸時代から現代にかけての史実について校内で講演を受けました。続いて、田崎さんとともに鳥追観音如法寺へ移動し、副住職で西高卒業生である三留光善さんの案内で観音堂を見学しました。仏像や彫刻を通じ、鳥追観音開創の背景や当時の文化について触れることができました。

▲如法寺の三留副住職から講話を聞く西高生たち（西会津高校提供）

西会津を知り、未来を学ぶ

西会津こども研幾塾 第３期が開塾

６月11日、西会津こども研幾塾の開塾式が町役場で行われ、第３期生として西会津小５・６年生から９人が入塾しました。開設から３年目を迎え、より充実した体験活動を通して、町の歴史や文化、自然、産業などについて理解を深め、町の未来を担う人材の育成を図ることを目的に今年11月まで活動します。

この日は、薄町長による講話が行われ、塾生の皆さんは真剣に耳を傾けながらメモを取り、町の現状や施策について理解を深めていました。

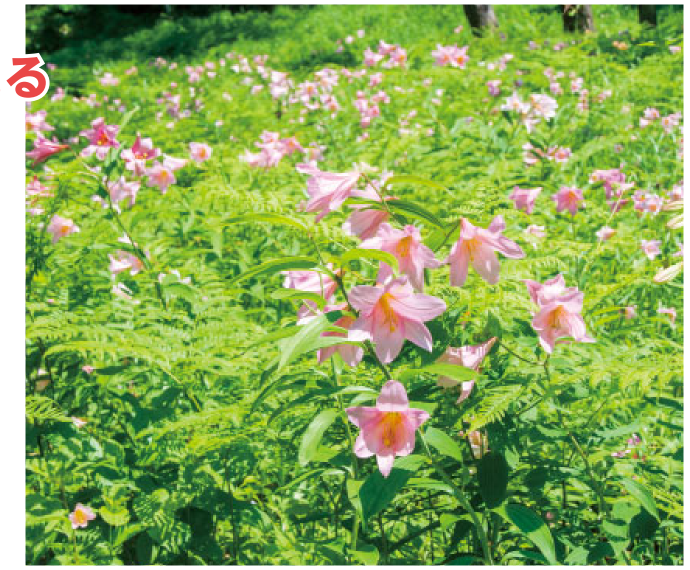
町の風景の魅力を伝える

奥川郵便局でミニ個展を開催

地域おこし協力隊として活動している中畑和香奈さんが町内の風景を水彩画で描いたミニ個展を開催しています。４月下旬から群岡地区にある「ゲストハウスひととき」で開催していたものの一部を、５月21日からは奥川郵便局の一角で、集落の四季を描いたものを中心に展示しています。

終了時期は未定ですが、感染症対策のため奥川地区の皆さんを中心に楽しんでもらえるよう呼び掛けています。[写真：５月26日撮影]

今年も安座おとめゆり祭りは中止

おとめゆり群生地で見頃を迎える

安座地区にあるおとめゆりの群生地では、６月上旬に見頃を迎えました。このおとめゆりの保護活動を行っている安座地区では、毎年この時期に「安座おとめゆり祭り」を開催していますが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、昨年に引き続き中止となりました。そのため、見頃である６月上旬は一般公開のみとされ、一面に咲いた薄紅色の可憐な花が来場者を楽しませていました。[写真：６月９日撮影]